



3855 SW 153rd Drive
Beaverton, Oregon 97006 USA
電話: 503-619-0560
Fax: 503-644-6708
E-mail: admin@ocpip.org
www.ocpip.org

OCP-IP リリース OCP 2.2 Revision A

ビーバートン (オレゴン州) — 2008 年 5 月 27 日 — OCP-IP は本日、OCP 2.2

Revision A を 6 月上旬にリリースすることを発表しました。この OCP 2.2 の最新版

には、コンセンサス プロファイルがいくつか盛り込まれています。エンジニアは

コンセンサス プロファイルを通じて、特定のシステムのユース ケースに見合う

OCP オプションの標準設定を入手し、それに従って、プロトコル変換を必要としな

いインターオペラビリティを確保することができます。その結果、生産性向上と早

期市場投入も期待できます。

OCP は設定パラメータが豊富に用意されているため最適化が容易で、ほとんどすべての IP コアやシステムの多様なニーズに対応できます。 マスター インターフェイスと スレーブ インターフェイスのパラメータ設定に相違がある場合、OCP により、両者がインターオペラビリティを確保できるルール セットが定義されます。また、インターオペラビリティの実現を優先して、マスターとスレーブのどちらか一方または両方に課される動作上の制約が決まります。 両者のパラメータ設定の相違が大きすぎて、マスターやスレーブの主要な機能が他方によりサポートされない場合は、シンプルなブリッジを介してのプロトコル変換が必要になるケースがあります。 なお、設定の異なる IP コアが共有インターコネクトを介して接続されている場合は、その共有インターコネクトでプロトコル変換が実行されることもあります。 これまでは、システム企業が独自のコンセンサス プロファイルを定義して、特定のシステムのユース ケースに見合う OCP オプションの標準設定を自社のエンジニアに提供し、プロトコル変換を必要としないインターオペラビリティを実現してきました。

コンセンサス プロファイルの定義が検討されるようになったのは、Nokia、Texas

Instruments、東芝が互いの OCP プロファイルを交換し合ったのがきっかけです。

この 3 社の同意を得て、これらの新しいプロファイルは COP-IP 仕様の作業部会 (MIPS、Sonics、STMicroelectronics の代表も参加) で完成をみました。

このコンセンサス プロファイルの技術面に関する詳細記事は、OCP-IP のニュースレター 6 月号 (<http://www.ocpip.org/pressroom/newsletters/> で無償配布) に掲載されます。

OCP-IP について

OCP International Partnership Association, Inc. (OCP-IP) は、2001 年、相互接続可能な仮想コンポーネントの迅速な作成と統合を保証する包括的なソケット標準規格として、Open Core Protocol (OCP) を推進およびサポートする目的で発足しました。OCP-IP の Governing Steering Committee には、Nokia [NYSE: NOK]、Sonics Inc.、Synopsys [SNPS]、Texas Instruments [NYSE: TXN]、および東芝セミコンダクターグループ (Toshiba America TAEC を含む) の各社が参加しています。OCP-IP は非営利団体であり、システムレベルの統合化要件を総合的に満たす、フルサポートされたオープン ライセンス方式のコア中心プロトコルを、世界で初めて提供しました。

OCP を使用することで、IP コアの再利用が容易になり、SoC の設計期間、リスク、および製造コストを削減できます。 詳しい背景やメンバーの情報については、www.OCP-IP.org をご覧ください。

追加情報については、次の窓口にお問い合わせください。

Ian Mackintosh, OCP-IP

408-761-5980

ian@ocpip.org

Joe Basques, VitalCom

512-249-6264

joe@vitalcompr.com

注: すべての商標およびサービス商標は各所有者に帰属します。

###